

2024年12月号

Vol. 232

arch-tsushin

あーち通信

～ 冬季休館のお知らせ ～

12月28日(土)から1月6日(月)まであーちはお休みさせていただきます。

なお、12月27日(金)は午前中のみ通常通り開館いたします。(清掃作業のため12:00に閉館)



これは、私が最近笑ったことなんですが、「5文字以内で怖い話を作って！」というお題があったので夫に聞いてみると、即座に“Tamaki

says ‘May I say something?’”「たまきが、『ちょっと、言いたいことがあるんだけど。』っていう。」でした。また、友だちに聞くと、“We should talk later.”「後で話しましょう。」でした。男の人は怖がりが多いようです。さて、冗談は置いておいて、“Excuse me. May I ask you something?”と言うと、「すみません。ちょっといいですか。」という意味で、何かを尋ねたいとき、友人にもビジネスシーンでも使えます。この質問への応えは“Sure, go ahead.”「もちろん、どうぞ。」です。

今年も私の話を読んでくださった方々、どうもありがとうございました。皆様、良い年末をお過ごしください。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)



「メリークリスマスおおかみさん」

作・絵:みやにしたつや

女子パウロ会 2000年10月1日 発行



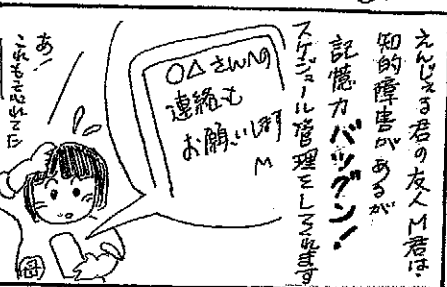
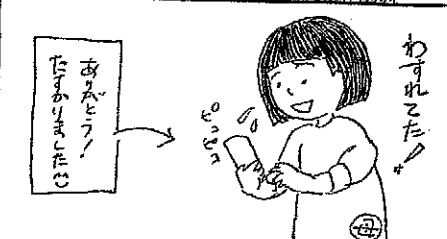
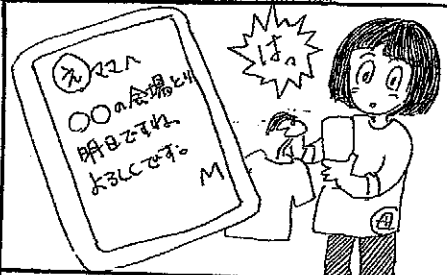
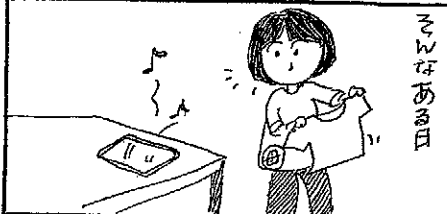
おおかみは見た目も中身も怖いのに、どこか憎めないキャラクター。クリスマスの準備をするこぶたたちを食べようとしますが、自分が壊したクリスマスツリーにつまずいて転んでしまい、こぶたたちに看病される始末。包帯でぐるぐる巻かれてうまく喋れないおおかみと、優しいこぶたたちのかみ合わない会話が笑いを誘います。

クリスマスの朝、おおかみは足を引きずりながら去っていきました。クリスマス嫌いだったのはどこへやら。口の包帯をそととって言ったセリフは…。さあ、今年のクリスマスはどのように過ごしますか。みなさんにとってよい時間になりますように。

(あーちスタッフ 永野)

えんじえる君II by Bon

やさしい秘書(?)



12月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	日		
2	月	休	館
3	火	あーち人形劇団「むー」のクリスマス会 ワークショップ 14:00~/人形劇 15:00~	
4	水	月イチwith 10:30~12:00	
5	木		健康あーち(相談) 午前中
6	金	よる・あーち 17:00~19:20	
7	土	プラレール広場 10:30~16:00	あらかると音楽遊び 14:30~15:00
8	日		
9	月	休	館
10	火		
11	水		
12	木		ベビーマッサージ 11:00~12:00 ※下記参照
13	金	よる・あーち 17:00~19:20	
14	土	おはなしの国 11:00~11:30 プラレール広場 12:45~16:00	
15	日		
16	月	休	館
17	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
18	水		保健師さんとお話ししましょう 11:00~12:00
19	木		
20	金	よる・あーち 17:00~19:20	
21	土	おもちゃ病院 13:00~15:30	
22	日		
23	月	休	館
24	火		ふらっとリトミック 11:00~11:30
25	水		
26	木		ベビーマッサージ 11:00~12:00 ※下記参照
27	金	※12:00に閉館いたします(10:30~12:00は通常通りご利用いただけます。)	
28	土	冬季休館 12/28(土)~1/6(月)	
29	日		
30	月		
31	火		

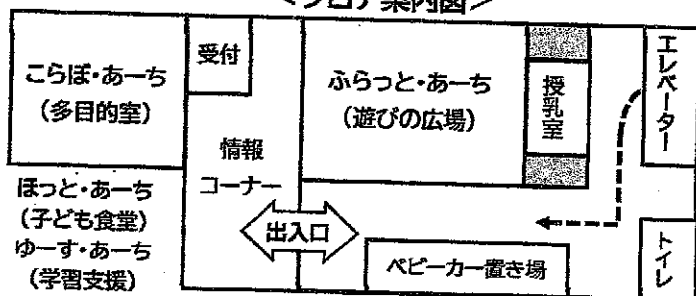
- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。

また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、10:45ごろにご来館ください。

※リフレッシュYOGAに参加される方は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を1枚お持ちください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

水曜 午前 保健師・保育士

水曜・木曜・土曜(不定期) 助産師

お電話でも相談できます



<プログラムのご案内>

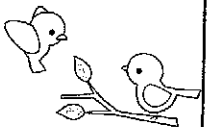
- ★あーち人形劇団「むー」…あーちに来ているみなさんと、一緒に楽しく人形劇遊びをしませんか？それぞれ自分の好きなこと、できることを持ち寄って気軽に参加してください。
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国…ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院…ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)
 - ※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。
- ★健康あーち(相談)…大学教員(公認心理師)が「ふらっと」でみなさんと交流します。日頃のモヤモヤする気持ちや健康にまつわることなど、ゆっくりお話ししましょう。
- ★月イチwith…参加者それぞれの困りごとと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょう
- ★ふらっと リトミック…リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場…広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ…赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★保健師さんとお話ししましょう…保健師が月1回、健康に関するお話しをします。個別のご相談もどうぞ。
- ★よる・あーち…「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。



<あーち利用のご案内>

利用時間 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)
 ※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。
 金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
 託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。
 未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。



138億年の時間の中で

なかせい

第44話「不確実で不明瞭なことに向き合う」

前回、「能力」に対して逆転現象がおこったことを語りましたが、その視点を獲得できたのは有意義な体験でした。でも、社会でその視点を広く共有するのは中々難しいし、様々な制度が1年2年ですぐに変わらないのも現実。私は逆転の視点でもって、今しんどい気持ちを抱えている、未来を担う子ども達の役に立ちたいと思うようになりました。だって、我が子と同年代の子が、社会によって救われないの

ならば、将来、不寛容な世の中になってしまうような気がして。子ども達の苦しみを見て見ぬふりをすることが、息子たちを追い詰める時がくるんじゃないかと考えるようになりました。そこで、次男の不登校をキッカケに親の会の運営をするようになり、明石市公設民営の(利用者に金銭的負担がかからない)子どもを対象とした日中の居場所スタッフとして仕事させてもらえるようになりました。勤め始め

て1年半ほどしか経っていませんが、小さな奇跡を
沢山見せてもらっています。

まずはスタッフ。年齢や個人的なバックグラウン
ドは多様でありながら、お互いを対等な仲間という
認識を強く持っています。トップダウン運営のほう
が作業効率はいいはず。でも、効率最優先という引
力に意図して逆らっているようにすら見えます（事
務作業は効率を優先していますが）。日中の居場所
なので、学校に通いづらい子たちが集まります。効
率が優先される学び場に息苦しさを感じている子た
ち。この場所では効率よりも、子どもたちの心の動
きを把握したい。スタッフそれぞれの経験や視点を
もって、多角的に子どもたちの状況を深く探る挑戦
が毎日行われています。そのためには、お互いを対
等な仲間と認識するちょっとした努力が必要なのだ
と言わなければなりません。

スタッフ間の尊重は、そのまま子どもたちにも同
様な眼差しが向けられます。小学生から高校生まで、
週に1回のペースで子どもたちによる話し合いの場
を設け、対等にルールを見つめなおし、意見や要望
を出し合います。はじめは見ていただけの子、その
場にいるだけの子が少しずつ自分の想いを口にし、
それがどんなにたどたどしいものであっても、耳を
傾ける。わざわざミーティングの為だけに来る子も
いる。・・・みんな、話し合いで合意形成ができる
じゃない。私たちは場を用意し、最低限のルールを
伝えただけ。凄いことのような気もするし、当たり
前のような気もします。

常からスタッフは子どもの声を聴く事を最優先し
ています。何気ないつづやきや、学校や家庭での出
来事。何がイヤで何を望んでいるのか、そのような
事。中には特別な配慮が必要なケースが見えてきま
すが、だからといって特別扱いはいしません。対応し
ないという事ではありません。配慮はみんなに必要
だから、それぞれに合わせた対応をするという意味
で、特別扱いになっていないのです。

当初は口数少なく笑顔が全く見られない子が、イ
ベントやミーティングの中で自分ならのできる
事を発見し、発揮するうちに、弾けるような底抜け
の笑顔が出るようになる過程を見られるのは大きな
喜びで、私たちスタッフは本人以上に嬉しいと感じ
ているかも。

人生や自分自身に大きく絶望している子、大人へ
の不信感が強い子、大きな集団の中では「特別」な
配慮が必要な子たちが、それぞれのペースで希望を
見出し、自分の事を話してくれるようになったり、
ルールを守って誰かの為に行動するようになる様子
を見てみると、これが教育というものの重要な一つ
の要素では？と思います。

「そんな場所じゃ将来やっていけませんよ」何度
か言われたことがあります（個人的に）、将来っ
ていつの事よ？あなたは「将来」とやらがどんなも
のになるのか知っているのですか？やっていけると
は具体的にどういうことを指しているんですか？と
反論したくなってしまう。

何かを達成したから将来が保障される、そんな雑
な因果関係。既に正解ではない事が証明されている
じゃない。今の社会がそのまま維持される前提から
逆算して「必要と思われること」を設定するのって、
間違っていないけど、大きな落とし穴があるよう
な気がしてきます。だって、すでにそのやり方で苦
しんだ子がここにもあそこにもいるんだし、将来な
んていつも不確実で不明瞭。

未来がどんなふうになっていたとしても、それで
も大切な事があるとすれば、自分を好きになること。
誰かを信じること。自分の居場所を見つけること。
そんなフワフワした、とても分かりにくいこと。莖
や葉を伸ばすよりも先に、目に見えない根っこを大
切にしたい。その為には、「未来なんて誰にも分か
らない」と向き合うことが、大人にとって大切な
のだと思うのです。

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火～土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971